

仙建協と市民みんなの情報マガジン

フォアサイト

F O R E S I G H T

巻頭特集

働き方を変革！

進む建設業のデジタル化

【企画特集】

20XX年こう変わる！仙台市内の道路ネットワーク

仙建協活動紹介 来るべき災害に円滑に対応

フォアサイトドック 体調管理における睡眠の重要性

仙建協会員企業MAP

見たい知りたい！地元建設企業第3弾

在仙2大学が企業訪問ツアー

【座談会】

仙台工業高校在校生＆卒業生

F O R E S I G H T
2024 No. 68

仙建協と市民みんなの情報マガジン フォーサイト F O R E S I G H T

2024
No.68



フォーサイトって何？

仙台市の地域建設業者で組織する仙台建設業協会(仙建協)が発行する無料の地域情報マガジンです。本来の意味は「先見の明」で、「仙建協」との韻を踏んでおり、仙台の未来を見通す内容とする願いが込められています。

CONTENTS

巻頭特集

02 働き方を変革！進む建設業のデジタル化

企画特集

06 20××年 こう変わる！仙台市内の道路ネットワーク

仙建協活動紹介

09 来るべき災害に円滑に対応～連絡体制など確認～ 仙台市5区役所と初の合同同時訓練実施

フォーサイト・ドクター

10 体調管理における睡眠の重要性

11 仙建協会員企業MAP

あなたのまちの建設スペシャリスト

13 見たい知りたい！地元建設企業 第3弾 在仙2大学が企業訪問ツアー

第6回座談会

17 仙台工業高校在校生 & 卒業生

21 仙建協だより

(一社)仙台建設業協会 会員会社

【青葉区】

熱海建設(株)
(株)熱海店
(株)阿部和工務店
阿部建設(株)
(株)石井組
遠藤建業(株)
奥田建設(株)
金福建設(株)
(株)小松建設
庄子建業(株)
(株)鈴木建設
仙建工業(株)
千田建設(株)
東北共栄建設(株)
(株)東北ロンテック
銅谷建設(株)
日建工業(株)

【青葉区】

(株)橋本店
東日本コンクリート(株)
(株)広瀬組
(株)深松組
宮環建設(株)
ワーカー工業(株)

【泉区】

赤坂建設(株)
(株)泉工務店
海道建設(株)
(株)さとう総業
東北グレーダー(株)
中田建設工業(株)
(株)榊田組
丸武建設(株)
(株)三浦組

【宮城野区】

栄喜工業(株)
奥山工業(株)
(株)鎌田建設
後藤工業(株)
仙台アスコン(株)
仙台土木建築工業(株)
(株)高工
鷹鷲建設(株)
(株)丹勝
中城建設(株)
長谷川建設(株)
(株)丸鹿
(株)湯目建設
(株)渡邊舗装工業

【若林区】

遠藤工業(株)
遠藤吉照土建(株)
皆成建設(株)
(株)加賀
木血建設(株)
栗村建設興業(株)
サイト工業(株)
(株)佐元工務店
仙舗建設(株)
(株)丹秀工務店
(株)千葉建設
東北ニチレキ工事(株)
日道建設(株)
ヤマトワーク(有)
若葉建設(株)

【太白区】

(株)阿部砂利建設
河北建設(株)
(株)柴田建設工業
(株)ショウエー
伸和興業(株)
通信道路(株)
(株)東北リアライズ
(株)永岡
(株)日啓工業
(株)ビルド
北都ハウス工業(株)
(株)丸三建設興業
山辰建設(株)
陽光建設(株)

【富谷市】

大川工業(株)

【黒川郡大和町】

大和建設(株)
八嶋建設(株)
(株)吉田工務店

【黒川郡大衡村】

(株)松川土木

働き方を変革！ 進む建設業のデジタル化

人口減少の影響により、さまざまな業界で人手不足が叫ばれています。特に建設業は他産業に比べて労働環境が厳しく、若い人の入職率や定着率も低いと言われていて、担い手不足が深刻化している状況にあります。そこで、この打開策として期待されているのがデジタル技術の活用です。巻頭特集では、デジタル技術の有効性と、仙台建設業協会会員企業のデジタル化の取り組みを紹介します。

生産性向上↑ 魅力ある建設現場に

わが国の就業者は、ここ20年で急速な高齢化が進んでいて、特に建設業は将来の担い手不足が心配されています。

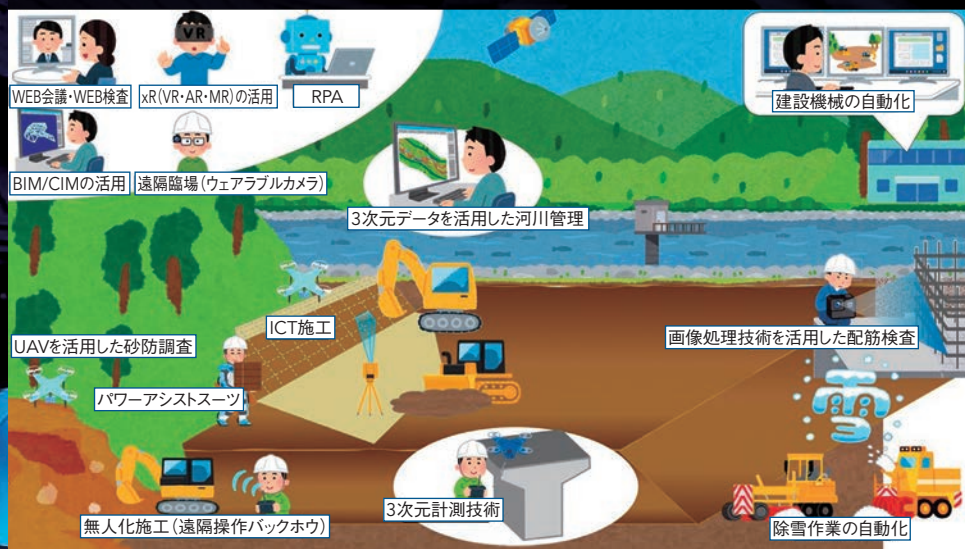
また、近年は自然災害が激甚化・頻発化しているほか、高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が進んでいます。

人口減少下にあってもこれらに適切に対応し、必要なインフラ整備を進めていくためにも、デジタル技術やデータを活用して、少ない人数で仕事を遂行できるよう、建設産業の仕事のあり方そのものを変革していくことが求められています。

国土交通省は、建設生産プロセス全体の抜本的な生産性向上に取り組むi-Constructionを2016年から推進してきました。全ての建設生産プロセスでICTを全面的に活用することで、より少ない人数・少ない日数で同じ量の仕事をこなしていこうというものです。

さらに、2024年4月からは建設業にも時間外労働の上限規制が適用となりました。他産業と比べて就労時間が長いと言われてきた建設業も長時間労働を改善し、これまでの働き方を変えていくべき時にあります。生産性の向上は働き方改革と表裏一体であり、この意味でもデジタル技術の活用がカギを握ります。

建設業界の働き方改革 イメージ 東北地方整備局HPより



建設プロセスのデジタル化 東北地方整備局HPより(一部加筆修正)

デジタイゼーション (Digitization)

UAV測量 (写真測量)	GNSS測量	TLS測量 (地上型レーザースキャナー測量)	GNSS (汎地球測位航法衛星システム)
GIS (地理情報システム)	電子納品(電子化)	CAD (コンピュータ支援設計)	遠隔臨場 (ウェアラブルカメラ等の活用)
オンライン会議	チャットツール	スマートフォン (携帯電話)	電子書籍

デジタライゼーション (Digitalization)

BIM/CIM	ICT施工	ASP (情報共有システム)	オンライン検査
オンライン電子納品	工事写真管理システム	一元的文書管理システム (電子決裁)	電子入札システム
電子契約システム	ETC (電子料金収受システム)	ASV (先進安全自動車)	RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション)

デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation)

業務モデルなどをデジタルなものに変革する

ICT施工 日建工業(株) (仙台市青葉区)

地域建設企業の中でもいち早くICT施工を導入してきた日建工業(仙台市青葉区 大泉敏代表取締役社長)。積極的にICTを活用し、コンスタントに実績を重ねています。

同社では、国土交通省がi-Constructionを打ち出した2016年以前からICT(情報通信技術)活用に関心をもち始めていました。ICT施工とは、ドローンやレーザースキャナなどの3次元計測システムを活用して測量し、そのデータを基に3次元設計データを作成、それらのデータを活用してICT建機で施工を行うもので、建機を自動制御できることなどが特長です。高い精度で施工できるほか、丁張り等これまで必要だった作業が不要になるなど、施工効率の大幅な向上が期待できます。



広大な駐車場を短い工期で引き渡すことができた

ICT施工の
実績重ねる

仙建協会員のデジタル化の取り組み



同社が2017年度に手掛けた宮城県発注の「中野ふ頭用地舗装外工事」は、ICT施工を導入した代表的なプロジェクトの一つとなりました。約3万2000㎡の広大な駐車場の整備を短い工期で引き渡すことが求められるという難しい工事でしたが、ICTを活用することで実稼働26日という驚異のスピードで暫定供用。通常の施工方法では約5カ月掛かると見込まれていた中、ICT活用で難題をクリアし、大手と肩を並べる技術力を証明しました。

このほかにもICT施工の実績を数多く残し、これらの成果は数々の表彰制度で実績が認められています。同社は、東北におけるi-Constructionの優れた事例を表彰する「みちのくi-Construction奨励賞」を2019年から3年連続で受賞(20年は2件受賞)。また、ICTを活用した3件の工事が、優れた建設事業に授与される「全建賞」を受賞しています(19年、20年、22年)。

自らの経験を基にトップダウンでICT活用を先導してきた佐野得男専務取締役は、「ICT施工を自社の強みにするためにも、いち早く取り入れました。これからもリーディングカンパニーとして積極的に推進する方針です」と話します。2024年度も3現場で適用するなど、ICT施工を軸とした施工を進めています。

UAV活用 伸和興業(株) (仙台市太白区)

伸和興業(仙台市太白区 笠原亨代表取締役)は、災害対応や現場検査立会等の効率化、安全性向上などにつながる「UAVによる点検情報提供システム」を宮城県で初めて導入しています。

この技術は、タブレットや車両に搭載した大型モニター等によるウェブ会議システムを活用して、UAV(Unmanned Aerial Vehicle)のリアルタイム映像を現場や発注者事務所等の遠隔地で共有するもの。衛星インターネット回線(STARLINK)を利用し低遅延で山間部などからも双方を結ぶことができるほか、設備を車両に積載し移動する特許技術を駆使し、機動力にも優れます。フライト(東京都小金井市 丹澤純代表取締役)が開発し、NETISに登録されています。

リアルタイム映像を共有して迅速に状況を確認できるので、瞬時に対応策の意思決定・指示を行うことが可能となります。加えて、超望遠ズームや温度差で河川、地面、人間などの判別が可能な赤外線サーマルカメラといった優れた機能も持ち、さまざまな活用の可能性があります。



車載モニター



デモンストレーションの様子

これらのメリットを踏まえ、伸和興業はさらなる業務範囲拡大などに向けて、2023年9月に宮城県内で初めて同技術の使用許諾契約を締結。今後、遠隔地の工事現場での検査立合やインフラ点検、災害発生時の現場把握など、ドローン活用が望ましいケースでの活用を想定しています。このほか、同技術以外にも土量の把握などにドローンを活用しています。

実際に同技術を確認した発注者からは「近年の災害対応でドローンは効果を発揮しています。有用性が高いため、災害対応を中心に積極的に同技術を活用していきたいです」などと評価する声が挙がっています。

伸和興業の黒沢久雄常務取締役は「人手不足が叫ばれる中、DXにより業務の正確性や安全性が向上します。また、現状の業務に付加価値を加えた提案ができるようになって考えています。一方、課題となる人材の育成も進めていかなければなりません」と力を込めました。

県内初導入

次世代会議システム

中城建設(株) (仙台市宮城野区)

勤怠管理のデジタル化

総合建設業の中城建設(仙台市宮城野区 結城創代表取締役)は、次世代ミーティングボード「MAXHUB」を導入し、業務の効率化やペーパーレス化などを実現しました。実用的な機能を集約した同製品は、使用している社員が「なくてはならない存在」と実感するほど、活用の効果が表れています。

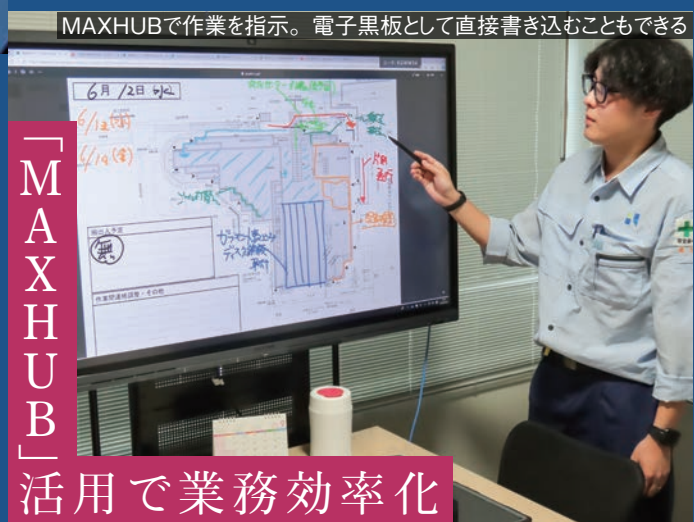
「MAXHUB」は、会議空間に必要なマイクやスピーカー、カメラ、電子ボード等の機能を1台に備えたディスプレイボードで、同社では、2022年の本社屋リノベーションを契機に取り入れました。現場での新規入場者教育や作業の打ち合わせなどを中心に、社内会議でも活用しているそうです。



従来、現場で大量の紙を配布して行っていた新規入場者教育や打ち合わせを、ディスプレイにスライドショー、図面等を投影する方法に変更。ペーパーレス化に加えて、説明の効率化や理解度向上、円滑な情報伝達などにつながっており、活用している及川朝志建築部課長も「1台何役」もの効果をもたらし、現場になくてはならない存在です」と舌を巻きます。これまで本社に社員が集合していた社内定例会議も遠隔地からリモートで参加可能なため、現場によっては約1時間の移動時間が短縮でき、車を運転しないことによる安全性の向上が図られたとのこと。

このほか同社では、出退勤や有給休暇の申請といった勤怠管理をスマートフォン、パソコンで実施。併せて、メッセージのやりとりや個人・組織の予定管理、ファイル共有、アンケートなどが可能な「LINE WORKS」も全社員が活用するなど、日常業務の“紙ベース”をデジタル化し、効率化や勤務時間の見える化を図っています。

業務改善に注力する宮尾禎智総務部部長は、「アナログのイメージが強い建設業では、無駄を省き、作業効率を上げるためにDXの余地は大きかったです。MAXHUBをはじめ、DX推進は3Kなど古い建設業のイメージを払しょくする追い風になると考えています」と力強く語ってくれました。



「MAXHUB」

活用で業務効率化

業務効率化アプリ

後藤工業(株) (仙台市宮城野区)

日報作成

アプリを導入

土木工事・舗装工事を主力とする後藤工業(仙台市宮城野区 後藤栄一代表取締役)では、現場の作業日報を作成する業務を効率化しようと、2023年の夏から日報アプリを導入しています。パソコンだけでなく、スマートフォンでも手軽に作成できるとあって、社員の評判は上々です。

もともとは、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入して産業廃棄物マニフェスト(産業廃棄物管理票)の作成を自動化したことがきっかけでした。他の業務でも省力化のためデジタル技術を導入できないかと委託先の会社に相談したところ、エクセルで入力していた現場の日報作成業務に効率化の余地があったことから、日報アプリの開発の打診を受けて、導入に踏み出しました。

アプリの検討に着手したのは2022年の12月。導入するまで7カ月程度の開発期間を要し、自社の日報の書式を生かしながら、より使い勝手が良くなるように開発会社と打ち合わせを重ねました。



現場からスマートフォンで日報を作成

従来は、現場での仕事が終了した後、現場事務所に戻って日報を作成していた、入力作業にも30分程度かかっていたそうです。

開発に当たっては、主にスマートフォンで使用することを想定し、資材名や協力業者名などはプルダウンで選択できるようにして、文字や数字の打ち込みを極力減らしました。また、写真もスマートフォンで撮影して簡単に日報に添付することができるため、作業状況の報告がスマートフォン1台で完結します。さらに、事務所と現場が離れていても、事務所に戻って日報を送る必要がなくなりました。

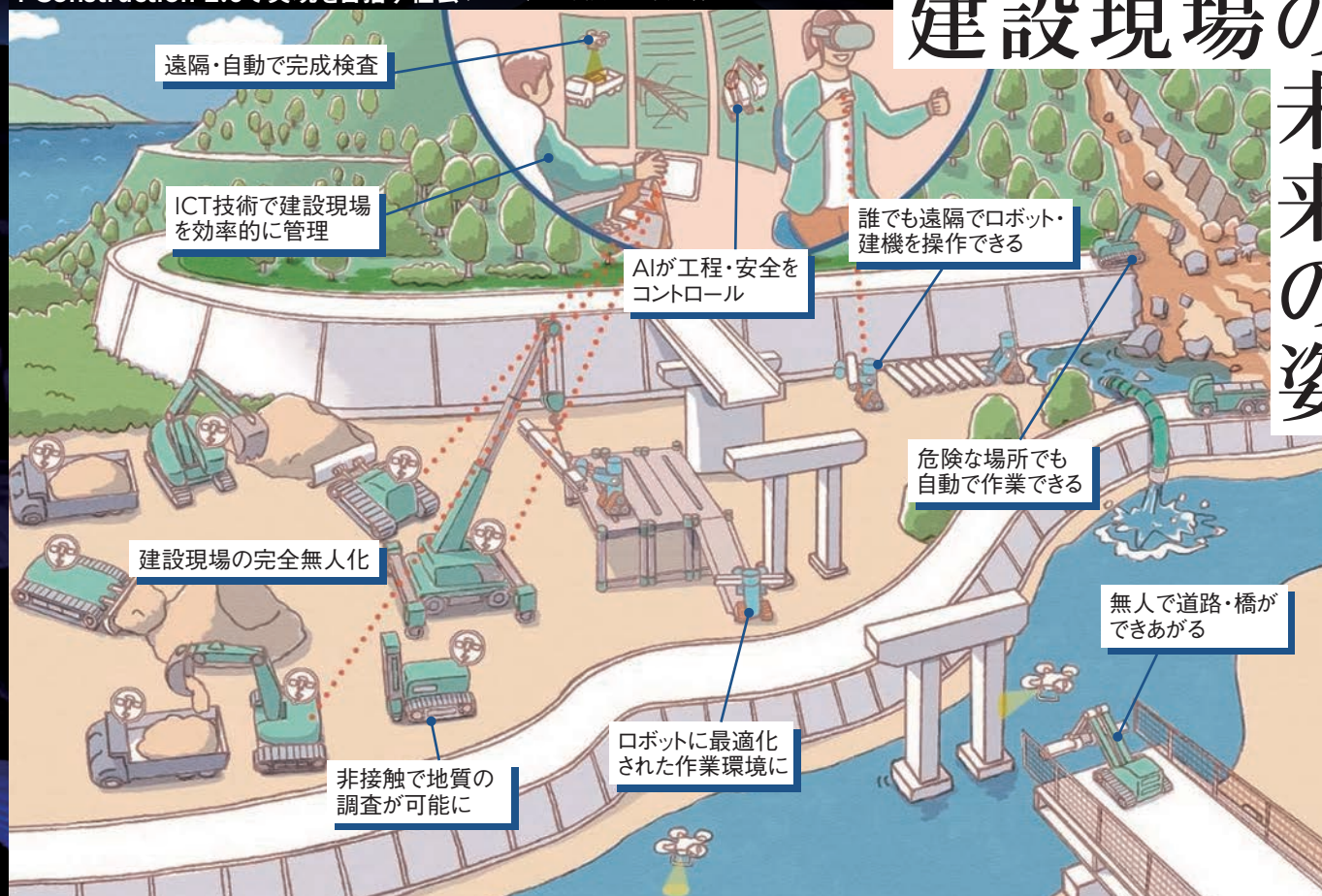
作成・提出の手間が減っただけではありません。本社で日報を閲覧・管理する人たちも、工事の案件ごとに一覧で日報を管理できるようになり、必要な情報をこれまでよりも簡単な操作で振り返ることができるようになりました。

江連宏常務取締役は「建設業の時間外労働規制が適用になり、業務の効率化は目下の課題です。日報作成アプリの導入はまだその一歩にすぎませんが、良いツールがあればほかの業務にも積極的に取り入れたいと思っています」と話しています。



日報作成の操作・管理が簡単に

建設現場の未来の姿



建設現場のオートメーション化に向けて

「ICTの活用」から「自動化」へ

国交省は2024年4月、i-Constructionの取り組みを加速し、建設現場における省人化対策に取り組むため、「i-Construction 2.0」をとりまとめました。

デジタル技術を最大限に活用して、建設現場のあらゆる生産プロセスのオートメーション化に取り組み、より生産性の高い建設現場の実現を目指します。具体的には、2040年度までに建設現場の省人化を少なくとも3割、生産性を1.5倍以上向上させることを目標に掲げています。

これまで人が手作業で行ってきたことを、AIやシステムを活用して自動化し、人はマネジメント業務に特化していくよう変革が求められています。

3つのトップランナー施策

1/ 施工のオートメーション化

→自動施工の環境整備、遠隔施工の普及拡大やAIの活用などで施工を自動化

ex. 一人のオペレータが複数の建設機械の動作を管理

ex. リアルタイムの施工データから現場を見える化し、建設機械を最適配置

2/ データ連携のオートメーション化(デジタル化・ペーパーレス化)

→デジタルデータの後工程への活用、現場データ活用による書類削減・監理の高度化、検査の効率化

ex. 設計データを施工データとして直接活用

ex. デジタルツインの構築による施工計画の効率化

3/ 施工管理のオートメーション化(リモート化・オフサイト化)

→リモートでの施工管理・監督検査、プレキャスト活用などで現場作業を省力化

建設現場で働く一人一人の生産量や付加価値が向上するだけでなく、給与や休暇など働く環境の観点からも建設業が魅力ある産業となり、インフラを守り続けていけることを目指して。

3次元データやICT建設機械の活用などデジタル技術の活用が進みつつある今、工程単位での活用から建設プロジェ

クト全体での活用へ広がることで生産性は一層高まり、これまでの仕事の流れが変革するインフラDX(デジタルトランスフォーメーション)が実現します。

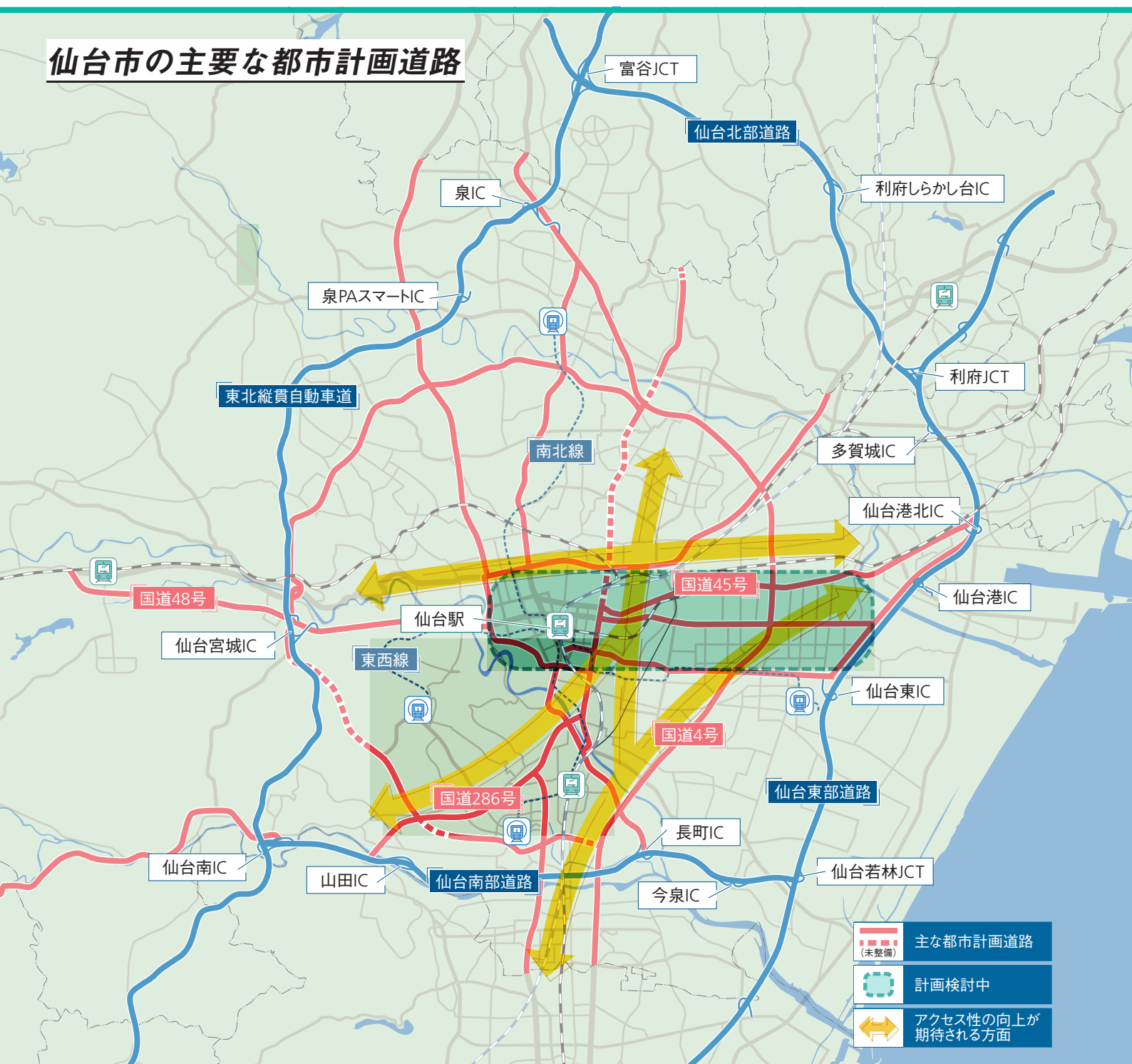
少ない人数で、より安全に、快適な環境で一。建設業が描く未来は、私たちの想像よりもずっと早いスピードで近づいてきているのかもしれない。

20XX年 こう変わる！ 仙台市内の道路ネットワーク

新しい道路ができた時や、新しい道路を造っている工事現場を目にした時、「この道路はどこにつながるのかな？」と気になったことはありませんか。普段何気なく利用している道路は、私たちの生活を便利にしているだけでなく、経済活動などを支える重要な社会インフラです。道路がつながり、ネットワーク化が進むことでさまざまな波及効果が生まれます。

さて、仙台市内では今後どのような新しい道路が計画されているのでしょうか。仙台市の主要な都市計画道路を中心に、市内における道路ネットワークの将来像を探ります。

仙台市の主要な都市計画道路



仙台市の交通政策と道路整備

仙台市では、これまで地下鉄東西線などの整備を行い、過度に自動車に依存しない公共交通を中心とした交通体系の構築に向けて、ハード整備を中心とした取り組みを進めてきました。こうした取り組みがひと段落し、公共交通の質の向上を図る新たなステージへと移行しています。道路整備のうち都市計画道路（都市計画法に基づき計画的に配置する道路）については、これを基本としながら都市経済や広域的な交流を支える広域的な道路ネットワークの形成に取り組む方針です。また、骨格幹線道路網（図・—色）を形成する路線・区間を中心に、渋滞緩和など整備効果の高い路線・区間を優先しながら整備することとしています。

PICK UP 仙台市南部地域から東部地域への流れ



2023年3月に開通した南鍛冶町・舟丁工区（提供＝仙台市）

宮沢根白石線（南鍛冶町・舟丁工区）の開通

仙台駅東側を南北に貫く「宮沢根白石線」の南鍛冶町・舟丁工区が2023年3月に開通しました。開通したのは、地下鉄南北線河原町駅付近の昭和市電通りとの交差点から、JR東北新幹線の高架橋の下を通り、連坊小路交差点を結ぶ延長1,041mの道路です。2004年度の着工から20年近くを経て完成しました。南部方面と仙台駅東口のアクセスも向上するとともに、市内中心部を避けて南北に通行できるようになり、中心部の交通混雑緩和に一役買っています。

南小泉茂庭線（宮沢橋工区）橋梁架替事業

宮沢根白石線の昭和市電通りとの交差点から南側は、新しい「宮沢橋」の架け替え工事が進んでいます。広瀬川に架かる現在の宮沢橋から約30m上流に新しい橋を整備しているもので、2026年の開通を目指しています。橋の南側（太白区側）となる宮沢橋交差点は現在、五差路となっていますが、これが十字路に改良される見込みです。

新しい宮沢橋が完成すれば、宮沢根白石線を経由して国道45号と国道286号が接続することになり、市東部地域と長町方面などのアクセスが向上します。



工事中の宮沢橋と現在の宮沢橋（左）。国道286号方面を臨む

表紙の写真 建設が進む「宮沢橋」



完成パース（提供＝仙台市）

JR仙台駅の南側約2kmに位置し、広瀬川に架かります。これまでは片側1車線で慢性的な交通混雑が発生していましたが、新しい橋は片側2車線になり、橋の幅は2.3倍の25.8mに広がります。また、4本あった橋脚は、水害対策として水の流れをせき止めないよう1本にし、景観にも配慮します。

長く仙台市民に親しまれてきた宮沢橋。この景観を残すため、現在と同じ赤色の橋にする計画です。橋げたの架設工事が進み、いよいよ新しい橋の姿が現れてきました。

【工事場所】 太白区根岸町～若林区堰場地内

【施工者】 下部工＝橋本店・河北建設JV
上部工＝駒井ハルテック・三井住友建設鉄構エンジニアリング・角藤JV



宮沢根白石線の北部への延伸

宮沢根白石線は広域的な幹線道路として重要な路線です。特に、国道45号と交わる小田原から北側の約4kmは骨格幹線道路網を形成する区間として、整備優先度の高い区間に位置付けられています。

このうち、2023年度には宮沢根白石線南光台工区として延長約1.7kmが現地調査・予備設計に入りました。小松島新堤地内から北進し、四条通りと交差して、2019年に開通した南光台トンネルの南側につながる区間です。事業スケジュールはこれから検討されることとなりますが、道路を新設するための一歩を踏み出したと言えるでしょう。南光台工区の道路が整備されると、国道4号と都心部のネットワークが強化されるだけでなく、市内北部の幹線道路の混雑緩和が期待されています。

国道45号との交差点から北側を臨む

ひょっとすると……?

さらに北側に目を向けると、泉区松森の国道4号バイパスから七北田川を渡り、県道泉塩釜線に通じる区間(0.7km)と、泉区の松陵団地内から富谷市との市境をまたいで北へ向かう未整備の計画ルートが存在します。富谷市側のこの沿線には、商業施設や住宅地があるほか、国道4号やパークタウンにもつながるため、構想が実現すればこの道路が北部地域の幹線道路として重要な役割を担うことにもなります。

この先の情勢によっては、計画が一気に具体化へ傾くかも……?

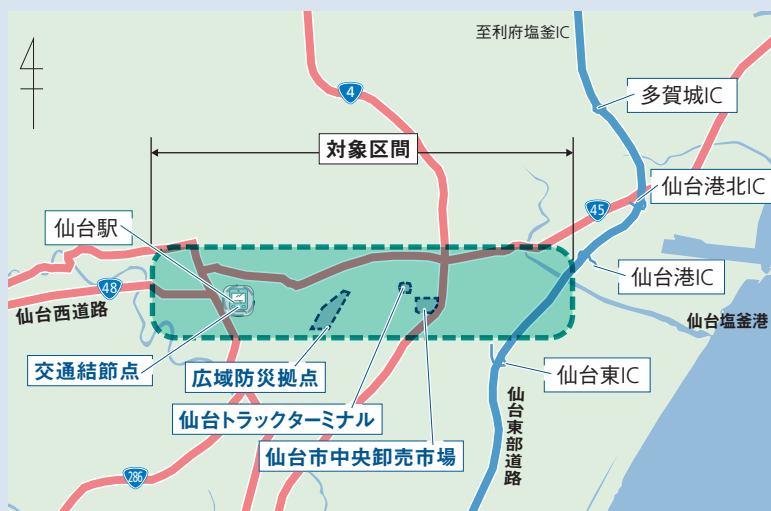


松陵団地内で行き止まりに

AND MORE...

東西の新たな大動脈

仙台市中心部と沿岸部を結ぶ「仙台東道路」計画



東西方向の交通需要に対応出来るネットワークの確保のため「仙台東道路」の整備が検討されています。この道路は、仙台都市圏自動車専用道路ネットワークの一部として、仙台東部道路と仙台市中心部の仙台西道路を直結する計画で、国がおおまかなルートや道路の構造などを検討している段階です。

仙台東道路は東西の主要な拠点の連携を担い、交通結節点となる仙台駅はもちろん、宮城県が整備する広域防災拠点、仙台中央卸売市場や仙台トラックターミナルといった物流拠点、仙台塩釜港とのアクセスを強化するだけでなく、慢性化している一般道の混雑改善、物流活性化や交流人口の拡大などが期待されます。

整備が実現すれば、仙台都市圏の姿を大きく変える可能性を秘めています。

おわりに

道路は人や物の移動だけでなく、地域のまちづくりを支え、災害時には避難路

として活用されたり、救援活動を支えたりする役割があります。

新しい道路ができるまでには長い時間が掛かりますが、地域の人たちと行政、

工事関係者など多くの人が関わりながらさまざまなステップを踏み、限られた予算で効果的・効率的な整備ができるように計画されています。

来るべき災害に円滑に対応

〔 連絡体制など確認 〕

仙台市5区役所と初の合同同時訓練を実施

仙建建設業協会では、東日本大震災の経験を踏まえ、来るべき地震災害に備えて仙台市との合同訓練、協会内情報伝達訓練を2010年から実施しています。これまでは仙台市と締結している「災害時における応急措置の協力に関する協定」に基づき、年1回、ローテーションで1つの区役所と訓練を行っていましたが、今年は初めて全区役所、宮城総合支所と合同で開催。無線機で情報伝達を行ったほか、災害想定現場に会員を派遣するなどして訓練し、有事に備えました。



仙建協事務局

仙建協の会員は毎年訓練を行ってきたものの、区役所側は5年に一度のペースでしか順番が回ってこないで、その間に担当者が変更することもあり、東日本大震災クラスの災害への対応策が課題になっていました。また、災害は広範囲で多数発生する可能性があるため、全区役所合同での同時訓練が望まれていました。

5月29日に行った訓練では、午前9時に宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、市内で震度6弱を観測したと仮定。宮城県に津波警報が発令され、仙台市内では家屋の倒壊、橋梁に段差等が発生するなど早急な応急復旧が必要な事態を想定しました。発生後、仙建協事務局と各区役所、宮城総合支所内に災害対策本部を設置し

た。会員たちは各区の災害の指揮を執る隊長社に集合し、隊長社の担当者が区役所・総合支所に出向いて情報伝達体制を整えました。

各隊長社のうち青葉区を担う深松組の対策本部では、発生ほどなくして復旧を先導する同社の社員5人が集まりました。仙建協事務局（協力会本部）に1人、市民から連絡が寄せられた災害現場に2人を派遣。同区役所と宮城総合支所に会員企業の社員を各1人連絡員として出向かせ、市側の要請内容を聞き取りました。また、同区を担当する4班長社が集合し、各社員の安否、出勤可能人数などを報告しました（フロー図）。

災害現場に到着した深松組の社員は区役所・支所の職員と合流して現地確認を行い、応急処置に必要な資材の種類や個数、車の台数などを無線で深松組本部に連絡。資材調達後にカラーコーンや土のうを並べる処置をとったことを報告しました。深松組本部はこれらの情報を集約して協力会本部に連絡していました。

これと並行し、現場に急行した会員から寄せられた情報を基に体制を構築する「協力会

本部からの指示伝達訓練」も実施。深松組本部に参集した4班長社から、現場に近い企業を選定し駆け付けける練習も行いました。

仙建協の事務局では、隊長社や各区などと連絡を取るとともに、協力会本部を運営。仙台市役所より協力会本部へ要請のあった各種災害応急措置の協力要請を割り振りし、各作業隊などへファックスで指示を送りました。

このほか、▽協力会本部と各隊長社▽隊長社と各班長社▽班長社と各班員社一の間でグループLINEを立ち上げ、災害時の連絡手段として活用することにしました。

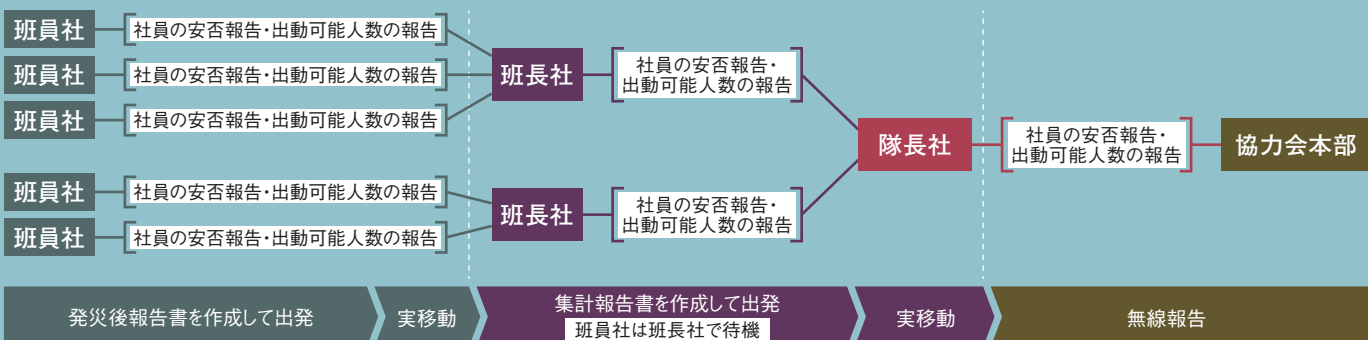
訓練を終え指揮を執った深松組の田村浩司取締役土木施工本部長は「無線機の使用は、スマートフォンの電話やLINE機能と勝手が違い、シナリオ通りの訓練にはなりません。繰り返し練習することが必要だと感じました」と話していました。

次年度以降も各区役所、宮城総合支所と合同で行うことにしています。また、「災害時の相互援助に関する協定」を結んでいる静岡県松建設業協会とLINEのグループを設置し、情報伝達の円滑化を図る予定です。



青葉区 隊長社での様子

2024年度 仙建協 情報集約訓練 フロー図



体調管理における睡眠の重要性



あなたは夜キチンと眠れていますか？

慢性的な睡眠不足は日中の眠気や意欲低下・記憶力減退など精神機能の低下を引き起こすだけでなく、体内のホルモン分泌や自律神経機能にも大きな影響を及ぼすことが知られています。また、睡眠時間だけでなく質の良い睡眠が取れているかどうかということも大切です。まず、自分が寝不足かどうかを知ることが必要です。

睡眠不足が様々な病気の原因に

寝不足が続くと日中ぼーっとしたり集中力が続かなくなったり、身体のだるさも感じやすくなります。

仕事もミスが多くなってきます。不安などから寝不足になった場合、それが続くとうつ病になることもあります。寝不足になると空腹感が強くなる一方で、なかなか満腹感を得ることができなくなります。それにより糖分のとりすぎや食べ過ぎで肥満になりやすく、生活習慣病になるリスクも高まります。高血糖や脂質異常、高血圧になれば他のさまざまな病気のきっかけにもなります。さらに寝不足やバランスの悪い食生活が続くと皮脂の分泌が活発になり、体臭もきたしやすくなります。このように寝不足はさまざまな病気の原因になるので気をつけましょう。

質の高い睡眠をとるために

眠れない場合に多い原因はコーヒーや紅茶などのカフェインの摂りすぎです。また、夜中に目が覚めてしまう原因として考えられるのは、寝る直前の食事です。それにより体が消化のためにエネルギーを必要として体が休まらず、眠りが浅くなります。アルコールは一時的に寝つきをよくしますが、睡眠後半の眠りが顕著に悪化します。また、タバコに含まれるニコチンには覚醒作用があり、睡眠前の喫煙は入眠を妨げます。夜になかなか眠れないという方は、アルコールと喫煙は控えて下さい。睡眠時間だけではなく睡眠の質を上げるためには、寝る前にできるだけリラックスした状態をつくるこ

とが重要です。部屋の明るさを控えるにしたり部屋の温度を適温にしたり、就寝の1、2時間前に入浴して体を温めることで入眠しやすい状態にしましょう。寝る前には、体内時計への影響が強いブルーライトが使用されているパソコンやスマホの利用は控えましょう。自分に合った枕などを用意して、睡眠のための環境を整えることも大切です。また、毎日起きる時間と寝る時間を決め、朝起きたらすぐ太陽の光を浴びるようにしましょう。寝る時間を毎日一定にすることで、より深い眠りにつけるようにもなります。また、日中眠くなった時には10～20分だけでも仮眠をとると頭がスッキリして仕事もはかどります。ただし1時間以上の仮眠は夜間の不眠を招いてしまいますので、注意が必要です。

睡眠の問題を改善していくことは、体と心の健康づくり、さらに心身の病気の発症や悪化予防において、重要な意味を持つものと考えられます。自分の睡眠状態に少しでも疑問を感じたら、遠慮せずに早めにかかりつけ医に相談をしましょう。



菅野 庸

(かんのよう)

医療法人社団 初心会 杜のホスピタル・あおば
医師
仙台大学客員教授

■経歴

1991年 3月 川崎医科大学卒業
1991年 4月 川崎医科大学精神科
1993年 4月 東北大学精神科
1997年 4月 緑ヶ丘病院
2007年 4月 こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ
2021年 8月 青南病院、おおぞらクリニック
2023年10月 杜のホスピタル・あおば、あおばの杜診療所

■資格

精神保健指定医
公認心理師
日本精神神経学会専門医・指導医
日本老年精神医学会認定医
日本認知症学会認定臨床医

他



(一社) 仙台建設業協会 青葉区支倉町2-48(宮城県建設産業会館2階) 265-7094

番号	会社名	住所	電話番号
1	赤坂建設(株)	泉区上谷刈字赤坂9-2	372-5111
2	熱海建設(株)	青葉区錦町一丁目1-31	263-1671
3	熱海店	青葉区通町二丁目5-4	233-2074
4	阿部和工務店	青葉区上杉一丁目17-18(第5銅谷ビル)	264-0411
5	阿部建設(株)	青葉区中江二丁目23-20	223-8115
6	阿部砂利建設	太白区長町六丁目11-14	248-4231
7	石井組	青葉区藤松4-18	341-7410
8	泉工務店	泉区泉中央一丁目7-1(駅ビル5階)	373-4865
9	栄喜工業(株)	宮城野区燕沢東一丁目1-10	252-2581
10	遠藤建設(株)	青葉区八幡六丁目7-13	222-6668
11	遠藤工業(株)	若林区荒井二丁目6-3	390-1850
12	遠藤吉照土建(株)	若林区大和町二丁目1-20	238-0886
13	大川工業(株)	富谷市富谷源内57-3	358-6307
14	奥田建設(株)	青葉区八幡六丁目9-1	275-2311
15	奥山工業(株)	宮城野区扇町三丁目4-24	284-0334
16	皆成建設(株)	若林区六丁の目元町2-11	286-4821
17	海道建設(株)	泉区南中山二丁目24-10	376-8188
18	海加賀	若林区鶴代町3-19	235-3911
19	河北建設(株)	太白区泉崎二丁目23-41	245-5351
20	鎌田建設(株)	宮城野区田子字権八160	258-8677
21	木皿建設(株)	若林区六丁の目南町7-15	288-5033
22	金福建設(株)	青葉区八幡六丁目7-34	234-0519
23	栗村建設興業(株)	若林区上飯田四丁目17-44	289-1821
24	後藤工業(株)	宮城野区扇町四丁目6-4	284-9069
25	小松建設	青葉区下愛子字二本松13	392-2209
26	サイト工業(株)	若林区卸町二丁目6-11	355-8123
27	さとう総業	泉区七北田字朴木沢93-1	374-1181
28	佐元工務店	若林区遠見塚二丁目27-9	286-2652
29	柴田建設工業	太白区茂庭字町北21-1	748-4401
30	ショウエー	太白区富沢南二丁目17-13	393-7123
31	庄子建業(株)	青葉区みやぎ台一丁目9-7	391-3461
32	伸和興業(株)	太白区大野田五丁目5-2	797-5848
33	鈴木建設	青葉区川内三十人町51	223-7783
34	仙建工業(株)	青葉区一番町二丁目2-13	225-8511
35	仙台アスコン(株)	宮城野区扇町六丁目2-21	258-1128
36	仙台土木建築工業(株)	宮城野区小田原一丁目5-12	293-4351
37	仙舗建設(株)	若林区荒井七丁目37-2	766-9581
38	大和建設(株)	黒川郡大和町吉岡天皇寺184-22	345-2325
39	高工	宮城野区宮城野一丁目28-1	297-3344
40	鷹鷲建設(株)	宮城野区原町四丁目6-2	257-5331
41	丹勝	宮城野区日の出町三丁目3-32	235-0333
42	丹秀工務店	若林区保寿院前丁6-10	286-8335
43	千田建設(株)	青葉区通町一丁目3-11	234-1221
44	千葉建設	若林区遠見塚東14-24	286-9241
45	通信道路(株)	太白区大野田二丁目2-27	304-3288
46	東北共栄建設(株)	青葉区上杉二丁目2-47	224-2137
47	東北グレーダー(株)	泉区松森字中道81	372-2415
48	東北ニチレキ工事(株)	若林区沖野四丁目3-15	285-1511
49	東北リアライズ	太白区大野田五丁目20-7	226-7630
50	東北北ロソテック	青葉区折立一丁目14-15	226-0351
51	銅谷建設(株)	青葉区上杉一丁目17-18(第5銅谷ビル)	262-5568
52	永岡	太白区ひより台10-16	743-4555
53	中城建設(株)	宮城野区幸町二丁目23-1	297-1611
54	中田建設工業(株)	泉区小角字大明神5-1	348-2348
55	日道建設(株)	若林区卸町東五丁目3-22	288-8898
56	日啓工業(株)	太白区中田町字後河原20-3	241-2191
57	日建工業(株)	青葉区二丁目16-9	221-4576
58	橋本店	青葉区立町27-21	714-7020
59	長谷川建設(株)	宮城野区新田一丁目16-14	284-0168
60	東日本コンクリート(株)	青葉区一番町二丁目2-13(仙建ビル5階)	225-4421
61	ビルド	太白区長町南一丁目8-18	308-3788
62	広瀬組	青葉区上愛子字雷神3-14	392-4620
63	深松組	青葉区荒巻南沢二丁目18-1	271-9211
64	北都ハウス工業(株)	太白区ひより台25-15	244-2451
65	梶田組	泉区将監殿一丁目6-2	372-5871
66	松川土木	大衡村大衡字河原51-14	345-0529
67	丸三建設興業(株)	太白区西多賀二丁目6-45	796-3778
68	丸鹿	宮城野区扇町五丁目8-8	235-1171
69	丸武建設(株)	泉区松森字新田19-3	373-8221
70	三浦組	泉区七北田字東裏118-1	372-5511
71	宮環建設(株)	青葉区葉山町1-25-201	274-2281
72	山崎建設(株)	黒川郡大和町鶴巣北目大崎寺寺東11-1	343-2206
73	山辰建設(株)	太白区砂押南町1-2	248-3341
74	ヤマトワーク(株)	若林区二木字山王3-2	352-0398
75	湯目建設(株)	宮城野区萩野町一丁目15-7	232-0510
76	陽光建設(株)	太白区西多賀三丁目8-10	307-1066
77	吉田工務店	黒川郡大和町宮床字新小路61	346-2257
78	ワーカー工業(株)	青葉区錦ヶ丘六丁目4-2	398-4395
79	若葉建設(株)	若林区卸町東五丁目2-23	288-8671
80	渡邊舗装工業	宮城野区蒲生五丁目1-1	258-1342

賛助会員

杜の都建設協同組合	青葉区支倉町2-48(宮城県建設産業会館5階)	395-4344
-----------	-------------------------	----------

見たい知りたい！ 地元建設企業 第3弾 在仙2大学が企業訪問ツアー



東北工業大学



東北学院大学

仙建協と地元大学の合同主催による企業見学会が行われました。第3弾となる今年は昨年と同じく東北工業大学と東北学院大学が参加し、東北工大は建築コースと土木コース、東北学院大は土木・建築コースで実施。8月5～7日の3日間と9月13日の4回に分けて会員企業10社を訪れ、各社の特長や会社の雰囲気などを体感してもらいました。



東北工業大学・建築コース

中城建設(株) 宮城野区幸町

まちをワクワクさせる会社

中城建設では、東北工業大学の卒業生でもある総務部の菊地怜奈さんがナビゲートし、自社の事業領域を紹介。建築事業に加え、福祉事業や不動産ファンド事業、農福連携事業などを展開していて、地域課題を新たな地域資産に変える事業を積極的に行っているとPRしました。

菊地さんは創業から約80年となる自社の沿革を紹介し、現在を「未来先取り 転換期」と表現。「建設業で培ってきたノウハウやアイデアを融合させた事業に力を入れています。建築

物を通して、地域の方の「あったらいいな」という思いを実現する『まちをワクワクさせる建設会社』でありたいと考えています」とビジョンを説明しました。

数多く手掛ける事業のうち、2023年には農福連携事業が本格始動しています。農業法人を設立して、障がいを持つ人に農地で働いてもらい、農業の担い手不足と障がい者の雇用という課題を解決に導いています。さらに、グループホームの整備・運営も手掛けるなど、ハード整備にとどまらず、ソフト面からも地域課題の解決に貢献している会社です。



総務部の菊地さん

東北工業大学・建築コース

サイト工業(株) 若林区卸町

地図に残る仕事の醍醐味感じて

建物躯体工事をメインに商業施設や住宅、公共施設の建築修繕、土木工事に至るまで地域の快適なまちづくりを支えているサイト工業。当日は齋藤法幸代表取締役が「未来を担う建設業の魅力」と題してプレゼンし、学生に建設業の必要性を訴えました。

齋藤代表取締役は、



齋藤代表取締役

建設業は建物を建てるだけでなく、インフラのメンテナンスや災害対応に従事していることを紹介。一方で、少子高齢化の影響により建設業の担い手不足が深刻化している現状をデータで示しながら、建設業が地域の生活維持に欠かせない存在であることを説きました。また、これからの建設業はICT技術の活用で省力化が進んでいることや、業界全体で「給料・休暇・希望」の新3Kへと転換していることを紹介。「携わったものは地図に残り、ずっと存続し続けます。この達成感や社会への貢献度は他の産業では味わえない、建設業ならではの醍醐味だと思います」と話し、学生たちの未来にエールを送りました。



東北学院大学・土木・建築コース

伸和興業(株) 太白区大野田

豊かな地域づくりに貢献する会社です

平博行総務部長が、企業概要や待遇面などを紹介しながら「道路や海岸・河川、下水道といった土木工事全般を通じて豊かな地域づくりに貢献する会社です」と紹介しました。また、ICT施工にも積極的に取り組んでいることを強調。UAV(ドローン)に



平部長(左)と佐藤さん

よる測量データの活用や機械による自動施工など、建設現場ではいくつもの最新技術が取り入れられていることを説明し、学生らは大いに感心していました。

「何よりユニフォームがスポーティで恰好良かったこと」が入社の決め手と話す入社1年目の佐藤航さんは畑違い(食品系)の分野から建設業界に。「国の後押し(働き方改革)もあり、今年(2024年)を境に建設業のイメージが大きく変わるといった感じ」と強調しました。



(株)東北リアライズ

太白区大野田

法面工事のプロ集団

ライト工業（東京都）の100％子会社として2001年に創業した同社。冒頭、参加した学生を前に東北学院大学OBでもある渡部尚社長



あいさつする渡部社長

は、「特殊土木、特に法面工事を得意とするプロフェッショナル集団です」とPRしました。千葉克広部長は、「斜面は自然な状態、法面は人工的」と違いを説



説明する先輩社員

明したうえで、同社が携わった施工例を紹介。「得意とする法面工事に加えて軟弱地盤改良といった都市土木や、東日本大震災以降は一般土木工事でも着実に実績を重ねています」と話しました。また、資格取得も全面サポートしており「社員は多くありませんが、“ALL東北リアライズ”で仕事に向き合うのが社風です」と強調しました。

このほか、社会貢献活動やレクリエーションなどイベントも多彩なことを紹介しました。



(株)深松組

青葉区荒巻本沢

建設業にとどまらない多彩な事業を紹介

来年3月に創業100周年を迎える同社。仙台建設業協会会長でもある深松努社長はビデオで登壇し、企業紹介を兼ねながらメッセージを寄せました。

深松社長は、本業である建設業の分野にとど



ビデオメッセージを送る深松社長

まらず不動産や太陽光、小水力発電といった再生可能エネルギー、観光・宿泊施設などの沖縄開発事業、仙台市藤塚地区に2年前にオープンし、仙台の新たな観光資源として地域活性化に貢献するアクアイグニス仙台、さらには海外（ミャンマー）でのサービスアパートメント事業など多種多様で幅広い事業内容を紹介。最後に「地域にとって“本当に必要とされる企業”と一緒に目指していきましょう」と呼びかけました。



阿部建設(株)

青葉区中江

一般建築はもちろん、伝統建築も多く手がけます

学校や庁舎、マンション、店舗などの一般近代建築はもちろん、寺社仏閣などの伝統建築にも積極的に取り組んでいることをPR。伝統事業部の奈良岡淳一郎部長は、伝統建築の実績として仙台市民なら誰もが知る「定義如来西方寺（定義さん）」の本堂や五重塔をはじめ仙台市



説明する奈良岡部長



若手社員からアドバイス

指定文化財・大願寺山門の修復など数多く手がけていることを紹介しました。

また、若手社員を代表して入社3年目の館澤将吾さんと新井田琉心さんが、これまでの経験を踏まえてアドバイス。商業高校から東北工業大学を経て入社した新井田さんは「建築は人を幸せにすることができる仕事です」、新井田さんは「ものづくりに興味を持ったのが建築分野に進んだきっかけ」としたうえで「自分の計画通り建物が出来上がった時の達成感は大きく、それが施工管理の魅力です」と話しました。



中城建設(株)

宮城野区幸町

地域課題を新たな「地域資産」に

学生たちを前に、総務部の菊地怜奈さんが自社のビジョンや幅広い事業内容などを紹介。建築事業に加え、福祉事業や不動産ファンド事業、農福連携事業などを展開していて、地域課題を新たな地域資産に変える事業を積極的に行っているとPRしました。



また、隣接地にある「無印良品の家」モデルハウスも見学しました。「永く使える変えられる」をコンセプトとする無印良品の家は同社がフランチャイズ展開するもので、見学したモデルハウスは人気のシンプルなデザインとSE構法による丈夫な骨組み、南面に大きくとった窓や開放感ある吹抜けなどが特長。学生たちは、モデルハウス内をくまなく見て回りながら、「将来の我が家」に思いを巡らせていました。



モデルハウス内を見学

(株)丹勝 宮城野区日の出町

緑化事業を通じて地球環境に貢献

同社は法面保護や一般土木に加え造園、屋上・屋根・壁面などの緑化事業を得意としており、一行を迎えた丹野勝馬社長は「緑化を通じて自然保護、さらには地球環境に貢献する会社です。特に屋上緑化システムは経済産業省から『新連携認定事業計画』にも認定されました」とPR。また、

東北工大OBでもある菊池明部長は、法面保護工事の具体的な事例を示しながら「自然が相手では時には急斜面など危険が伴うこともありますが、決して事故がないよう万全の安全対策で臨んでいます」と無事故無災害にも十分留意していることを強調しました。

この後のディスカッションでは、2人の工事社員が自身の経験を踏まえながら「働き方改革等も浸透し、給与や休日などを含めて着実に働きやすい環境になっています。皆さんの若い力をお待ちしています」と呼びかけました。

東北工大OBの菊池部長

あいさつする丹野社長

仙建工業(株) 青葉区一番町

JR東日本のパートナー企業

冒頭、総務部人事課の小室圭太課長は「一般的な土木・建築分野に加えて線路部門を有しているのが大きな特長」と紹介。参加者らに「JR東日本のパートナー企業として生活インフラ(鉄道)を日々支えている会社です。安定して受注があり、宮城県内にとどまらず東北全体で活躍できます」とPRしました。

また、土木本部の佐々木崇人次長は資格取得支援や定期研修のほか、名取市内に建設中の新研修センターには「実物大の鉄道施設を



左から今野担当課長、佐々木次長、小室課長

整備する」など社員育成体制も充実していることを強調。線路本部の今野恒志郎担当課長は、国内でも数少ない大型保線機械を紹介しながら「日々厳しい精度をクリアしながら、安全安心や定時性を確保しています」と訴えました。

日建工業(株) 仙台市二日町

得意はICT施工 豊富な実績を誇ります

一般土木工事はもちろん、高速道路といった幹線道路から生活道路まで種類を問わず道路舗装工事を得意とする同社。特に、舗装工

事で使用するアスファルト合材などを製造・出荷するアスファルトプラントを「県内企業で所



伝野専務取締役

有しているのはわが社だけ」(伝野得男専務取締役)とストロングポイントをアピールしました。

働き方改革にも積極的に、他社に先駆け現場を含めた完全週休2日制を導入。CIMやMC(マシンコントロール)といったICT施工の実績も豊富で、みちのくi-Construction奨励賞や工事成績優秀企業といった表彰も数多く受賞していることを紹介しました。

また、若手社員は「社内のコミュニケーションがとりやすく、働きやすい職場です」とPRしました。



奥田建設(株) 青葉区八幡

“地域に生き、地域を愛す”がビジョンです

初めに鴻巣成大部長が自社の基本データを示しながら「“地域に生き、地域を愛す”がビジョンです」とアピール。そのうえで「良いものを、安全に、早く、経済的に」をミッションに掲げていることを紹介しました。

また、東北工大OBの先輩社員が自身の経験などから建設業の魅力など



佐藤さん



長谷川さん

をプレゼンテーション。佐藤秀威さんは「一番のやりがいは、自分が手掛けたものが形として残ること」、長谷川淳一さんは「働き方改革の一環で完全週休二日制に移行しており、プライベートも充実しています」とPRしたほか、

斎藤孝弘土木工事は、担当する川内沢ダム現場を紹介しました。



伸和興業株

太白区大野田

UAVを利用した最新システムを見学

入社1年目の佐藤航さんが「工事を設計通りに実行するために重要な工程である測量、工事が円滑進むよう関係者の意思疎通を図る



本格的なUAVに興味津々



「コミュニケーション能力が鍛えられるほか、資格取得という目標もあり日々スキルアップできる仕事です」と紹介しました。

この後、同社保有する「UAVによる点検情報提供システム」を見学。これはタブレットや車両に搭載した大型モニター等によるウェブ会議システムを活用して、UAVのリアルタイム映像を現場および発注者事務所等の遠隔地で共有するもので、学生らはモニター画面を見入ったり本格的なUAVに触れるなど興味津々な様子でした。



奥田建設株

青葉区八幡

教育支援制度が充実しています

同社の建築を統括する山尾訓司常務は、「建築工事の約7割は公共工事で、特に宮城県発注を数多く施工している会社です」と紹介しながら、同社が求める人材として①コミュニケーション能力がある人②創造力がある人③向上心がある人④投げ出さない人—と訴えました。

入社後について「20代で1級建築施工管理技士を取得、30代前半で現場所長、40代前半から管理職」といった具体的なビジョンを提示するとともに、そのための教育支援制度も充実し



ていることを紹介し、参加者は熱心にメモを取っていました。

また、入社7年目の黒沢凌さんは1日の作業の流れを紹介しながら若手社員の日常を具体的に紹介しながら「県の優良工事を数多く受賞しており、安全管理にも力を入れている会社です」とアピールしました。

株深松組

青葉区荒巻本沢

若手社員が仕事の魅力等をアドバイス

深松努社長からのビデオメッセージに続いて、動画を通して若手先輩社員3人が仕事の魅力や建設業を目指したきっかけなどを伝えました。



ペッパーくんがお出迎え

建築部所属の豊嶋希生さんは「街をデザインする仕事で、とてもやりがいがあります」

としながら「お客様と意見を交わしながら一緒に作り上げていくことが施工管理の魅力です」とアドバイス。土木部所属の元居みずきさんは「建設業は楽しくやりがいがある仕事。女性の皆さんも大歓迎です」とエールを送りました。

このほか、当日司会を担当した総務課の光井響平さんは同社が地域貢献活動の一環として取り組む公立中学校部活動の地域移行で、八軒中学校バスケットボール部を指導していることを紹介しながら「会社のサポートもあり、思い切って自分なりの指導と仕事を集中して充実した社会人1年目を送っています」と話しました。



Students Voice 参加者の声

東北工業大学

参加者／建築コース(3年2人、1年4人) 土木コース(3年2人)

参加の動機は?

- 県内で働きたいが県内企業の情報を持っていなかった
- 企業のイメージを持って就職活動をしたかった
- 1日で複数の企業を見て回れるのは良い機会だったから...etc

何をを知りたいと思っていた?

- 仕事の内容
- 県内の企業と規模、雰囲気
- 求める人材や学生時代にやっておくこと

意外だったことは?

- 若い人が予想以上に多い
- 施工管理の仕事が多めだった
- 働き方改革の影響...etc

もっと説明してほしいかった内容は?

- 実際の現場
- 福利厚生
- 社内の上下関係といった雰囲気など...etc

東北学院大学

参加者／土木・建築コース(1年生3人)

参加の動機は?

- 建設業の仕事を知りたかった
- 就職活動の参考にする

何をを知りたいと思っていた?

- 職場の雰囲気
- 給料や休暇、残業時間など
- 仕事の大変さ...etc

意外だったことは?

- 若い社員が多かった
- 社屋がきれい
- 制服がスポーティ...etc

もっと説明してほしいかった内容は?

- 形式的な説明だけでなく裏側も知りたかった
- 現場を見てみたい...etc

おしえて先輩 もっと知りたい! 建設業の仕事

仙台市立仙台工業高校 在校生&卒業生 第6回座談会

フォーサイトでは今年も、仙台市立工業高校土木科・建築科の生徒と仙台建設業協会会員企業で活躍する同校卒業生の座談会を企画しました。地元建設業の発展を担う多くの人材を輩出している仙台工業高校は社会の即戦力となるスペシャリストの育成に力を入れています。座談会では、地元建設会社の若手社員である2人が、建設業の仕事や将来の進路選択に関する質問に答えました。



前列:左から元井さん、相澤さん、角田さん、加藤さん、後列:左から安藤さん、阿部さん

まずはOBの方々から、経験年数やどのような仕事をしているのか、会社を選んだ理由などをお話しいただければと思います。

安藤 熱海建設の安藤蓮です。勤務して丸5年となります。現在は丸森町で橋梁下部工の施工管理をやっています。今の会社に入ったのは、地元貢献したいという気持ちで強く、地域に密着した企業を選ばせていただきました。在学中は先生に指導を受けながら、高校生「橋梁模型」作品発表会に出展するための橋梁模型づくりに励んでいました。

阿部 橋本店の阿部竜生と申します。今の仕事をして7年目になります。今は蔵王町で工場増築工事の現場所長をしています。今の会社を選んだのは、地元で働きたいという希望で、地元の大きな企業を選びました。在学中はコンピューター部に所属していましたが、生徒会に入ってから、生徒会長の活動に力を入れていました。

続いて生徒さんたちから、仙台工業高校に入学した理由や将来の進路などをお聞かせください。

相澤 (土木科) 父が卒業生で、私も同じ道に進みたいと思いました。進路は迷っていましたが、ここで話を聞いて自分の進路選択に繋がっていきたくと思っています。

元井 (土木科) 元々建設関連に興味があり、オープンスクールで仙台工業に来て、自分で体験できたらいなと思って入りました。まずインターシップなどを通して建設関係で施工に携わりたいと感じています。



熱海建設(株) 工務部

安藤 蓮さん

2019年3月卒(6年目)

阿部 最初は重機が好きだったので土木の道に進もうかと思っていました。一方、建

角田(建築科) 小さい頃から建設業に興味があって、進路は設計事務所に入りたいと思っています。家を見るのが好きなので、家の関係の仕事に就きたいと思っています。加藤(建築科) この学校を選んだ理由は、小さい時に見たテレビ番組の影響で、建築ってカッコいいと興味を持ったのがきっかけです。まだ分からないことだらけですが、3年生になってから、もっと進路について考えていきたいと思っています。

安藤 建設業に入った理由としては、東日本大震災を経験し、まちが復興する様子を見ていく中、携わっている人たちに憧れたのが一番の理由です。実際に自分が建設業に入ってから、台風の被害を受けた丸森町で復興作業に携わることになり、復興していく様子を見ると、建設業界の一員になれるのかなという気持ちになりました。今年で6年目になりますが、まだまだ勉強していることも多いですし、これからも頑張っていきたいと思っています。



橋本店 建築部

阿部 竜生さん

2014年3月卒(7年目)

物も好きだったので、建物を作る場所には重機もあると考え、建築の道に進みました。橋本店は県発注の工事や仙台市発注の工事などさまざまな場所で仕事をしていきます。大卒で2〜3年経って資格を取ること、仕事をどんどん任されるようになってきました。今は所長として仕事するようになっていて、新しい技術も出てきているので、日々勉強しながら仕事を進めています。

地元企業の魅力とはどのようなところだと思いますか。

安藤 地元企業の魅力と言うと、見知った街や場所など知っている所であっても、変化を自分の手で造り上げ、その経過を肌で感じられるところが一番大きいかなと思います。自分で携わったものがずっと地元に残っていくというのが魅力的なのかなと思います。

阿部 私も同じようなことになりましたが、自分が携わった建物が身近に残るのは魅力だと思います。私は大崎市役所の建設に携わりました。結構大変な工事だったので、やっぱり出来上がるとかっこいいなと思いますし、いつでもそこに行けるということが魅力だと思います。会社の人も宮城県出身の人が多くて、県内のいろいろ

な場所で仕事をしているので、会社で集まった時に地元でもあまり知られてない情報などを知ることができて楽しいです。また職人さんと方言で話すこともあり、方言を通じて仲良くなれるところも地元ならではの魅力なのかなと思います。

学校時代と実際に社会に出て苦労した点などを教えてください。

安藤 苦労した点で言うと、私は高校在学中からあまり勉強が得意ではなかったし、好きでもなかったということがありました。実際は就職してから、日々の業務の中で学ぶこともあれば、資格の勉強をしていかなければならないなど、常に勉強していくことになりました。普段の業務と資格勉強や、新しい工法の勉強を並行していかねばならないところが、一番大変かなと思います。

阿部 学生時代、CAD検定とか大工技能士とか、危険物とか、いろいろな資格を取得しました。会社に入っても勉強はしなければいけないのですが、学校と違うなと思うことは、学校のテストのように正解がないことです。会社ごとの特色があるので、これが正解というものが見つかからないです。また授業のように1から10までは教えてくれないことが多いです。1年目や2年目は所長や先輩の下で仕事をしていましたが、今度は自分が道をつくっていくかなきゃいけない立場になるので、自分の責任がどんどん重くなっていくのがちょっと大変なところだと思います。それを解決して丸く収まった時は凄くうれしい気持ちになります。

在学中にチャレンジしておいたほうがいいことや将来的に取得しておいたほうがいい資格などがあればお願いします。

安藤 皆さんは今も勉強していると思いますが、土木施工管理技士2級や測量関係の資格などにチャレンジしてみてもいいです。また施工管理業務につくのであれば、積算関係の講習会みたいなものも自分の時は開かれていたと思うので、そういったものを活用して積算について早いうちから触れておくことが大事なのかなと思います。特に土木業界に入るのであれば、土木施工管理士2級については勉強を頑張って損はないです。





た。最終的には建築士や施工管理技士の1級を目指して勉強していくことが必要かなと思います。

ここからはOBのお2人に生徒の皆さんからの質問に答えていただきます。

相澤 今やりたいことが明確に見当たらず、就職するか進学するかで迷っています。高卒と大卒で大きな差を感じたことはありますか。

安藤 土木施工管理技士など国家資格を取得していれば実力的な面では大差はないと思いますが、やはり給料の面などは差が出てくると思います。自分が進学を選んでいないものから、進学した場合はどうだったのかなというのを何度も考えたことがあります。私は高校2年生のころに就職すると決めて、高卒で業界に身を置いて日々勉強しつつ、働いていますが後悔はしていません。

阿部 私は大卒で就職しましたが、仙台工業高校の卒業生が同期で入ってきました。高卒と大卒なので年は離れていますが、仕事の面では全然遜色なく働いています。資格取得の面では実務経験の年数で不利になることがあるかもしれないですが、学校で学んでいることは結構大きく、社会に出てすぐ通用するようになると思います。

加藤 実際の仕事で使う設備と学校の設備が違うことがあると思いますが大変ですか。

安藤 学校で勉強していることと私たちが現場でやっていることは、基礎で全部つながっています。皆さんが学校で勉強していることは1つも無駄になることはありません。それがあるからこそ、最新の設備も扱

えるようになります。

阿部 使い方の基本は学校で学びますが、会社ごと、現場ごとに使用する機械が違ってきたりします。それでも学校で習った基礎があれば全然違うと思います。あとは会社のやり方にどれだけ慣れていくか、どれだけ先輩について行って教えてもらうかなど、自分がのめりこんでいけるかが大事かなと思います。

角田 男女比が気になるのですが、女性はやはり少ないのでしょうか。

安藤 若手や女性の建設業への参入を推進している効果なのか以前と比べて、業界全体的に女性が増えてきているのを感じています。弊社でも直近で入った新入社員の1人が女性でした。業界として女性が働きやすいように現場でのトイレや目隠しの設置など、いろいろと動いているところではあります。

阿部 現場に出ている社員はやっぱり男性が多いのですが、ここ最近だと現場に出る女性が増えてきています。橋本店では24年度に入社した新入社員12人のうち、4人が女性でした。また20代だと11%と女性社員が増えている状況です。現場では設計事務所の女性の方が訪れることもあるので、現



あい づわ ゆい
相澤 優衣さん

土木科 2年生



もと ひろ と
元井 大翔さん

土木科 2年生

場で下水工事を行って、男女別の清潔なトイレを設置することで快適な環境整備などにも力を入れています。

加藤 2人とも地元優先で会社を選択したとのことですが、そのほかにどのようなことを考えていましたか。

安藤 会社の雰囲気とかいろいろな要因があると思うのですが、やはり給与や休日の面も重視して選んだところはあります。休日に入社したばかりの頃は、第2、第4土曜日が休みで、あとは日曜日休みという形になっていました。今は週休2日の推進により、土曜日が確実に休みになったことで、かなり自分の時間が生まれました。もう一つは資格の取得や講習会への参加など社員に対するスキルアップへの補助が手厚い会社を選びたいという気持ちもありました。自分の成長を会社全体でサポートしてもらえるところがよいのかなと思っています。

阿部 自分が本当にやりたいことは後々変わってくるかもしれないし、本当にこの会社で良いかを見極めるためにも、本当に土日祝日休みか、給料はどのくらい貰えるかなどを考えました。みなさんが就職するときも正直に会社に聞いてみる勇氣はいると



加藤 龍行さん
建築科 2年生

思います。その上で自分に合っているのかを決めてもらえばいいと思います。最近に入社したときは全然変わって、残業をしない風潮になってきており、本当に働きやすい環境になったと感じています。

相澤 残業が多かったり休みが少なかったりするのは不安で質問をしようと思っていたのですが、働き方改革などで改善されているのは凄いいなと思いました。お2人の話聞いてその辺りの不安が無くなりました。

角田 産休を取ってから戻ってきて働いている人はいますか。

安藤 現場に出ている女性社員で産休に入ったという実績はまだないのですが、制度の方は何度も見直しを図っています。産休を取得して現場にしっかりと復帰できるような手当やサポート体制は整えています。

阿部 女性の産休育休制度を利用している人はいます。復帰したら事務仕事か現場仕事を選べる制度があります。また男性の育休制度などもいち早く取り入れており、私の同期でも制度を使用した人がいます。

加藤 今後、会社を導入してほしい制度などはありますか。

安藤 今入社する若手社員は先輩方と年齢が大きく離れていて、中間層がない会社が多くなっています。その中で先輩方の知識や技術継承をシステム化できたら若い人たちも活躍しやすいのかなと思っています。

阿部 社内研修制度の充実を図ればよいのかなと思います。若手社員を中心に勉強会を2週間に1回ペースで集まってやっていますが、もっと内容が充実するのいいなと思っています。

元井 休日に先輩方とかと遊びに行くなど会社内での交流などはあるのでしょうか。

安藤 年配の先輩であれば、たまに飲みに誘われたり、同じぐらいの年齢の社員であればオンラインゲームしたりとか、そういう交流はあります。

阿部 うちの会社は年代に関係なく仲がよいので、気軽に飲みにも行きますし、他の人ではゲーム参加や釣りに行く人もいます。休日以外でも、仕事終わりにご飯に行くこともあります。

自分の好きを見つけて仕事をしている先輩たちの話を聞いてどう思いましたか。

角田 現時点では好きなものを仕事にした



角田 愛珠さん
建築科 2年生

いと思っています。お2人は好きなものを仕事にできているとおっしゃっていたのですごく憧れます。

加藤 僕自身、好きなものがはっきりしていない状態ですが、待っていたら何も進まないということを思いました。自分から行動したことはあんまり無かったので、これからはそういったことも考えてやっていきたいなっていました。

元井 重機が好きでこの高校に入ったので、企業に就職する前から重機について積極的に学んで、好きなことをより明確にしておけば就職したいと感じました。

相澤 自分の好きなことを見つけて、それができるような仕事を探していけたらなと思います。

最後にOBの2人から、生徒に向けて一言いただきたいと思っています。

安藤 好きなことを見つけていくためにも、インターネットなどを活用して気になる職業を徹底的に調べてみてください。仙台工業高校に入っているということは、専門的な分野の会社との繋がりもあるので、先生方ともどんどん相談して、自分の好きなことを見つけてほしいと思います。その中で建設業とは別な方向に進んでいくこともあると思いますが、それでも好きなことを貫いて、自分の将来を進んでいってもらえればいいなと思っています。

阿部 これから進路を決めていく中で、いろいろなものを見てもらいたいと思います。自分はどこに向かいたいのかという一番の大元は忘れず、徐々に方向性を固めていくことによって、もやがかかったような状況を

を突き破っていけるようになります。人生は一度きりですので、悩み抜いて、後悔がないよう調べて、これだというものを見つけて欲しいと思います。



仙建協だより

深松会長を再任 2024年度定時総会

5月10日、仙台市の江陽グランドホテルで2024年度定時総会を開き、役員改選で深松努会長を再任しました。本年度は仙台市との防災訓練や家畜伝染病防疫措置の体制強化、担い手確保に向けた見学会などを展開する方針となっています。

深松会長は「時間外労働上限規制が始まりました。入職者を増やすためにも週休2日制などを積極的に進めていきたいです。市民の安全・安心を維持し、幸せを支える建設業として役割を果たしていきたい」と呼び掛けました。

24年度事業計画では、重点事項に▽復旧・復興への貢献活動▽会員企業の技術力向上、経営の改善を推進▽労働災害の防止、雇用改善を推進▽情報、資料の収集・伝達▽環境・福祉▽建設業の社会的使命▽関係機関・関連団体との折衝、連携▽会員の目標を達成―に関する事業を盛り込みました。具体的には、仙台市との災害時合同訓練

や意見交換会の開催、協定に基づいた家畜伝染病防疫措置の出動体制再整備、若手社員対象の研修会・交流会、大学生対象の会社見学会などを継続する予定です。

高校生が最新測量 機器など体験 仙台工高産業現場実習・ インターンシップ受入れ

6月と7月に会員企業が仙台工業高校土木科2年生の産業現場実習・インターンシップに協力し、生徒を受け入れました。このうち熱海建設は、ICT測量の体験や材料製造工場の見学など、土木工事の一連の流れが理解しやすいカリキュラムを提供しました。

26日に同社が施工する、東北地方整備局宮城南部復興事務所発注の「阿武隈川水系



GNSS機器を使った測量を体験

内川流域築堤外（その14）工事」現場などでインターンシップを実施。仙台工業高校の生徒3人が、最新のICT測量機器や点群データ作成のためのドローン撮影などを体験しました。この現場などをサポートする同社の猪野輝夫工事課長から説明を受けながら、自動追尾TS、GNSS機器を使い、現場内の数カ所を測量して、モニターに映し出される数値を野帳にメモしました。

3人は「測量機器が最新で計算後の数値が表示されて効率良く、作業しやすいです」「金額や入札時の加点方式など、学校では学べないことを知ることができました」などと感想を語りました。また3人は就職を希望しており「体験で現場への理解が深まりました。技術者を見て『こういう人になりたい』と思えました」と将来を見据えていました。

河川美化に貢献 広瀬川河川・海岸一斉清掃

「広瀬川1万人プロジェクト」の一環となる「広瀬川河川・海岸一斉清掃」が4月27日と9月28日に開かれました。仙建協も仙台市の千代大橋下流の河川敷で活動を開し、流域の美化のため汗を流しました。

4月の清掃活動では、深松会長が「仙台の宝である川を、子ども、孫世代まで残すため、今後も活動を続けていきたい」と述べました。

会員らは袋とトンガを手に、歩道や川辺の広場などを歩きながらごみを集めました。また、これまでの活動でごみが少なくなってきたことから、草刈りを中心に行う会員もいました。1時間ほど活動すると、雑草も含め多くのごみが集まりました。



広瀬川河川・海岸一斉清掃



深松会長

8月
●東北工業・東北学院大学生による会員企業見学会

9月
●仙台労働基準監督署と労安委員指導員の意見交換会
●第3回集団資源回収運動
●第36回広瀬川河川・海岸一斉清掃（千代大橋）へ参加

10月
●2024年度安全大会
●全国建設業労働災害防止大会（東京）へ参加
●第2回雇用・安全管理パトロール
●2024年度第2回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロールを支援

11月
●常任理事会・第179回理事会
●環境福祉委員会贈呈式、見学会
●2023年度建設工事安全パトロール
●宮城県建設業協会災害訓練へ参加
●第4回集団資源回収運動

12月
●フォーサイトNo68発行

同年代の交流深める 若手社員研修会

6月7日には、仙台市の秋保リゾートホテルクレセントで若手社員向けの宿泊研修会を開きました。社歴1年～10年の20歳代を中心に15社・29人が参加し、同業他社の同年代と交流を深めました。

同協会所属の仲間と知り合い交流することで、今後も情報交換できる関係性を築くことなどを目的に実施し、今回で3回目。

講師には新人研修や建設関連の各種講座を行う和合館工学会の今西肇学舎長（東北工業大学名誉教授）を招きました。

参加者は会社や所属名などをそれぞれ自己紹介。その後は「24時間以内のうれしかったことや身の回りの楽しいニュース」をテーマとしたディスカッションを実施。またコミュニケーションの知識として、効果的な文章の作り方・プレゼンテーションの仕方などについての講義を受けました。



若手研修会で交流を深める参加者

新しい顔ぶれ

（代表者変更）

2024年4月1日 奥山工業(株) 奥山 高章
代表取締役社長
2024年4月1日 通信道路(株) 鈴木 道夫
代表取締役
2024年5月27日 (株)丹勝 丹野 勝馬
代表取締役社長
2024年8月1日 銅谷建設(株) 佐藤 勝利
代表取締役
2024年8月1日 (株)泉工務店 小田島 直樹
代表取締役
（退会）
2023年5月2日 (株)熱海工務店

4月

- 第176回理事会
- 第35回広瀬川・河川・海岸一斉清掃（千代大橋）へ参加

5月

- 2024年度定時総会、第177回理事会
- 5区役所災害応急措置協力会説明会
- 第1回集団資源回収運動
- 5区役所との災害時合同訓練

6月

- 第1回雇用・安全管理パトロール
- 木建委員会と幹事会の合同会議
- 宮城県土木部施工管理技士会 仙台支部代議員会
- 仙台市防災訓練へ参加
- 第32回定期会議
- 募集力アップ講習会
- 会員会社若手社員宿泊研修会

7月

- 第1回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロールを支援
- 仙台建設業協会2023年度施工仙台市優良建設工事表彰式
- 第2回集団資源回収運動
- 常任理事会、第178回理事会

行事報告

1月

- 第3回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロールを支援
- 木建指導員と仙建協指導員合同会議

2月

- 仙台市への要望会
- 常任理事会、175回理事会

3月

- 木建委員会と幹事会合同会議
- 第5回集団資源回収運動

仙台市内12カ所へ 福祉施設に寄付金贈呈

1月中に社会福祉施設や保育園への寄付活動を実施しました。施設の運営などに役立ててもらうために例年企画しており、今回で34回目。コロナ禍が明け、久しぶりに施設を訪問して寄付金を贈呈し、▽ホープすずかけ（福祉作業所）▽八木山つどいの家▽アトリエ・ソキウス▽南材ホーム▽わ・は・わ▽コッペ▽すてっぷ・はうす▽しあわせ会福祉作業所▽高砂はげみホーム▽み

今年も資源 回収運動を継続 収集金で環境教材を寄付

仙建協の集団資源回収運動が、今年で6年目を迎えました。会員の各会社や家庭から出る資源ゴミを協会単位で集めて回収し、

どり工房長町▽おとぎの杜保育園▽杜の都保育園の12施設に計60万円を寄付しました。



エコラボでの見学会の様子

このほか贈呈式後には、県産材をふんだんに使用した東北大学大学院環境科学研科の木造校舎「エコラボ」を見学しました。

収益を福祉事業として社会に還元しようという取り組みで、年5回の回収を予定しています。

11月1日には、5年目の収集金で仙台市の環境学習拠点「せんだい環境学習館たまきさんサロン」に赤外線サーモカメラ1台とスロープ、ランプレライサー、調理用具などの木製おもちゃを贈呈。市環境局の細井崇久局長に教材を渡した仙建協環境福祉委員会の佐藤渉委員は「子どもや若い人たちの研究などに貢献していきたいです」と決意を表明しました。



贈呈式の様子

街の防災
サポーター

この建設現場は、大地震時に
地域の救助活動を支援します。

未来へつなぐ、杜の都のまちづくり
(一社)仙台建設業協会



発行所 一般社団法人 仙台建設業協会

発行 2024年12月

STAFF

■発行人／深松努 ■編集人／佐藤守彦 ■編集スタッフ／三浦修・土山拓・渡邊友紀・青田茂雄・阿部康孝・島貫美香
■編集協力／建設新聞社 ■印刷・製本／建設プレス

